

長岡京市営浴場運営委員会(令和6年度第2回)報告書(要旨)

日 時:令和7年3月4日(火) 午前10時~11時

場 所:北開田会館1階大会議室

出席者:奥本会長、榊田委員、北村委員、野老委員、西村(喜)委員、西村(淳)委員
野間口委員、比果委員

担当者:地域福祉連携室田端室長、徳田室長補佐、井上、中地、北開田会館梶原館長
※傍聴者1名あり

配布資料

- ・令和6年度 浴場利用者人数調べ(4月~1月)…資料1
- ・令和7年度 長岡京市営浴場予算(案)…資料2

会議内容

(1)浴場の運営状況について(資料1)

(事務局)

- ・資料1に基づき令和6年4月から令和7年1月までの利用状況について説明。
- ・年間利用者はコロナによる利用者減から、徐々に回復している。
- ・利用者割合について、3年前と比べて70歳以上の高齢者の比率が下がり、大人の利用者が増加している傾向がある。
- ・令和6年度も夏休み子ども無料期間(7月20日~8月25日)を実施。広報長岡京への掲載や近辺の小学校へのチラシ配布、浴場周辺の掲示板にチラシの掲示を行うなど事業の周知を行った。同期間中の子供の利用者数は令和5年度と比べ1.4倍増加した。
- ・昨年8月に脱衣所内のエアコンの故障が発生。冷風機やスポットクーラーを置くなどして対応したが、暑い時期に利用者に不便をおかけしたことをお詫びする。
- ・今年1月12日に女子浴室の出入り口上部のタイルが剥離し、落下した。翌日から2日間臨時休業し、仮修繕を行った後、1月30日(定休日)と1月31日を臨時休業して本修繕を行った。

【主な質疑及び意見】

- ・利用者数はコロナによる減少から年々増加している。知人から、向

日市の銭湯が定休日である火曜日は市外から利用しに来る人がいると聞いた。旧竹寿苑がのびのび苑（健幸すぽっと）へと移設されたが、施設内に風呂が無いため、市営浴場を利用する人がいるかもしれない。夏休み子ども無料期間中の子どもの利用者が増加している件については、これからも同様に広報活動を行うなど周知を行っていただければと感じる。自分もできる限り知人等に市営浴場について周知を行っているが、他の委員においても周知をお願いしたい。

・資料 1 の 7,8 月の子どもの利用者人数について、表に示されているのは子ども無料期間に入浴した人数のことか。（合計 26 人）

⇒事務局：表に示されているのは、7,8 月の子ども無料期間外に入浴した人数である。（無料期間に入浴した人数は 95 人）

・資料 1 について、年間を通しての利用者数の記載がない。（R5.2～R6.1 まで）

⇒R5.2～3 の利用者数については、前回（令和 6 年度第 1 回）の会議資料に記載しているため、ご確認いただきたい。

・当市営浴場は利用料も安く、市内唯一の浴場施設であることから、利用者数がそこまで多くないことがコスト面を考慮してももったいないと感じる。より多くの人に利用してもらえるよう、良い手立てはないか。

⇒委員：近隣他市に向けて周知してもいいのではないか。サウナで話した他の利用者は向日市から来ていると言っていた。

⇒事務局：市営浴場はあくまで長岡京市民へのサービスとして運営しているため、他市への広報活動は主旨にそぐわない。

・利用者数の減少に、人々の価値観の変化が影響していると考えている。昔は人がたくさん集まる浴場で会話をしながら楽しく入浴したいと考える人が多かったように感じるが、現代の若者等にはあまりその傾向がみられない。そういった意味では、広報活動を行ってもあまり効果はなく、そもそもの考え方が変わらなければ課題は解決しないのではないか。

・浴槽の湯の温度について、入浴した際熱いと感じることがある。以前からも議論してきたことであるが、アンケート結果では多数が湯の温度について「ちょうどいい」と感じていることから、温度の感じ方には個人差がある。しかし、他のスーパー銭湯の湯の温度と比較すると本市の市営浴場の湯温は熱いと感じる。高齢者など、人によっては体に負担がかかる人もいるため、良いやり方があれば考えていきたい。

⇒委員：利用者の中には、湯温が熱い方がいいという人もいる。

⇒事務局：湯温については毎日計っており、平均 42 度である。

⇒委員：家の風呂で入浴する際、浴場と同じ 43 度ほどで入浴しているが、市営浴場の湯温の方が熱く感じる。浴槽が広い分、湯が冷めにくい
ため、熱く感じるのではないか。

・利用者数が増えないことについての議論は以前から絶えず行っている。
市でも利用者アンケートや子ども無料期間などを行っているが、大幅に
改善が見込まれないように大きな課題である。現在の運営に関して、予
算を超過することはないのか。

⇒事務局：ここ数年は予算を超えていない。大規模な修繕等が必要にな
れば、補正予算を組み対応する。

⇒委員：利用者を増やすことばかり考えるのではなく、現状維持を受け
入れることも必要。市営浴場は市民サービスとしての位置づけがあるた
め、予算を超えないような維持管理が必要と感じている。

(2)令和 7 年度予算(案)について(資料 2)

(事務局)

- ・資料 2 に基づき令和 7 年度予算（案）について説明
- ・歳入の合計は 5,075 千円、歳出の合計は 22,449 千円

【主な質疑及び意見】

- ・管理費の休日夜間警備委託料は何のために計上しているものか。

⇒事務局：セコムの契約料である。

- ・役務費の電話料とは、どこの電話か。

⇒事務局：市営浴場直通の電話である。市民からの問い合わせ等に使
用しているもの。

(3)今後の浴場運営の在り方について

(事務局)

ボイラー、番台従事者について

- ・現在ボイラーは 3 名、番台は 3 名でローテーションしている。ボイラー従事者及び番
台従事者 6 名中、5 名が 70 歳代であるが今年度の勤務状況に特に問題がないことから、
7 年度も同様の体制で運営する予定である。

浴場運営委員会委員の任期の満了について

- ・現在の委員の任期は 3 月末まで。現在、次期委員の募集を市民新聞 3 月号やホームペ

ージにより行っている。

【主な質疑及び意見】

- ・若者に市営浴場を周知する方法として、LINE 配信はどうか。
- ・市営浴場を利用する知人から、カランが古いままのところがあり（水、湯が別々に出る）、全て混合栓に変えてほしいという意見を聞いた。
- ・入浴料金について、時間帯によって料金を変えるのはどうか。

⇒委員：色々な意見があるが、料金を変えることで利用者数が増加することは無いと考える。利用者数が増えないという課題については非常に難しい問題であり、この場の話し合いで解決し得ることではない。

⇒委員：運営委員会は話し合うための会議の場であるため、小さなことでも実情をさげ出し、話し合うべきだ。

- ・市営浴場に隣接する券売所の撤去は来年度のいつ頃行う予定か。

⇒事務局：現時点では未定。

（閉会）

・事務局：本日は様々なお意見をいただき感謝する。当市営浴場は歴史が長く、施設も老朽化している。修繕による臨時休業等によりご迷惑をおかけすることもあったが、これからも施設の機能維持、利用者の安全確保を第一として、重点的に進めていきたい。

以上